

令和7年3月11日（火）

卒業式を終えて、1・2年生へのメッセージ

1・2年生の皆さん、先週土曜日の卒業式はお疲れ様でした。そしてありがとうございました。卒業生と在校生と先生方、みんなで創り上げた令和6年度の卒業式は最高のものとなりました。

主役の3年生は、最後の最後まで歌声で小見川中をリードしてくれました。そして、呼名の返事の素晴らしさは皆さんが聞いて感じたとおりです。

でも、あの素晴らしい卒業式は3年生の頑張りだけではできません。卒業式練習、歌に込める思い、前日準備、1・2年生の頑張りもそこにはありました。

前日準備の時、たまたま私が目にした1場面を紹介します。式当日に3年生が座るパイプ椅子をひとつひとつ丁寧に黙々と拭いてくれている生徒がいました。ひとつひとつの椅子に座って、座り心地の悪いイスを交換してくれている生徒がいました。ああ、ここまでやってくれているんだと、私は本当に有り難い気持ちになりました。

パイプ椅子を拭く仕事も、座り心地の悪い椅子を取り替える仕事も卒業式本番に目には見えません。式に出席した多くの人はそこまでやっているなんて気がつかないと思います。でも、思いや真心というのは目には見えないけれど、その場の雰囲気として必ず人に伝わると思います。目に見えないところでも、先輩達のためにいい卒業式にしようとする1・2年生の思いが、今年度の素晴らしい卒業式をつくってくれたとも言えます。そして皆さんの歌もすばらしかったです。皆さんの思いが伝わってきました。卒業式に参加したすべての人が、小見中生の歌声に感動してくれました。この卒業式をとおして、「小見川中の合唱」が、きっと1・2年生に引き継がれたことと思います。

さあ、今日からは1・2年生の番です。今日から新しい小見中づくりのはじまりです。皆さんなら出来ます。特に2年生、ちょうど1年後、みんなはどんな姿で何を残して卒業していきますか？

そして1年生、みんなの卒業式は2年後でまだあまりピントは来ないと思いますが、感動のある素晴らしい卒業式は、1日や2日でできるものではありません。卒業の日を迎えるまでの今日から始まる1日1日の積み重ねです。4月から入ってくる後輩たちのためにも、まずは立派な中堅学年になってください。

これからも、たとえ目に見えなくても、人のためを思って頑張れるような小見中生でいてください。

最後、繰り返しになりますが、1・2年生のみなさん、素敵な卒業式をありがとうございました。